.gitignoreが異なるマージ(変更)した時の処理

以前の記事で、ブランチ毎に.gitignoreを別の内容にする方法について紹介した。

このような状況で、別ブランチからマージを実行（又は.gitignoreを変更）した場合は、無視したいファイルがリポジトリ内に残っている　ので、不要なファイルを削除してスッキリさせる方法の備忘録を残す。

無視したいファイルをリポジトリから削除

.gitignoreが変更されても、既にリポジトリに登録されているファイルは無視されないので、無視したいファイルを下記コマンドで管理対象から外す。

```
$ git rm --cached `git ls-files --full-name -i --exclude-standard`
```

又は

```
$ git rm --cached `git ls-files --full-name -i --exclude-from=.gitignore`
```

管理対象でないファイルを削除

下記コマンドで不要なファイルを確認

```
$ git clean -n -d -x
```

続いて下記コマンドで実際に削除

```
$ git clean -f -d -x
```

- -nオプションでは確認のみで、-fオプションで実際に削除する - -xオプションで.gitignoreに指定されたファイルも削除対象とする - -dオプションでディレクトリも含む

関連記事

- Gitブランチごとに別の内容にする

参考

---

1. あとからまとめて.gitignoreする方法 2. 基本操作 | 逆引きGit | サルでもわかるGit入門

From:
https://yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
https://yokoweb.net/dokuwiki/software/git/gitignore-different-merge?rev=1501567014

Last update: **2017/08/01 14:56**